



「準備はいいですか。」

「もう、3月になります。学校に来る残りの日数は19日です。やり残したことはないように、次の準備をしましょう。『朝の挨拶をしましょう。』お早うございます。(おはようございます)」

6年生の元気な声で、全員が元気に今週を始めることができました。

6年生のお話にもあったように、2月29日、今日で2月は終わりです。今年はどういう年とって、2月が一日多く、29日まであります。だから今日はいつもの年だと3月1日です。

あっという間に三月。一月行く月、2月逃げる月。その通りあっという間に逃げて行って、とうとう三月。一年最後の月になります。先ほど、6年生も言いかけたように、1年間をまとめ、次への準備をする時期です。

そこで、今日は「もうすぐ春。さて、次への準備はいいですか…」という話をします。

ここ2、3日、急に朝出かける時間の明るさに驚いています。つい先週くらいまでは、月が出ていて、星も見え、まだまだ暗い朝の道を自転車に乗って、ライトをつけて出かけていました。ところが、今日は、すっかり朝。明るい朝です。私の起きる4時40分頃はさすがにまだ真っ暗です。でも出かける準備をしていると、5時半くらいには東の空が明るくなり、朝焼けのなかに明けていきます。玄関を出て、自転車にかばんを積みさあ、出かける頃には、すっかり明るくなっています。明るいとやっぱり元気の出るものです。

さて、朝みなさんの教室のベランダ側の扉を開けていると、3階の南側の教室からは遠くに富士山が見えます。さすがにまだ富士山は雪で真白です。でも、2の1や4の1の教室や3の3や6の3の教室のベランダでは、真っ白な雪景色の富士山の手前に桜の木の芽がいよいよ少しずつふくらんできて、今日あたりは少し色づいているような気さえます。寒い寒い冬ももうすぐ終わり、だから、もうすぐ来る春には花を咲かせ、葉を茂らせる『準備』をしているのです。校庭には、春を知らせる踏の臺(ふきのとう)も出てきています。

校長室では、今、冷蔵庫のなかにギフチョウというチョウの赤ちゃん、蛹(さなぎ)が入っています。このチョウは去年の3月の末にチョウになり卵を産みました。その卵を4月の終わり頃に、チョウの大好きな友だちからいただきました。そして5月の1日に卵から孵化して0、5ミリくらいの小さな幼虫になり何度も殻を脱いでようやく3~4センチの黒い毛虫になりました。その毛虫が5月の末くらいに蛹になり、それからずううと蛹のままで夏も、冬も越してきたのです。普通皆さんがよく見かけるモンシロチョウや、アゲハチョウは何に何度か蝶になります。でも、このギフチョウは年に一回だけ3月の終わり、ようやく春が来た頃を見計らって蝶になります。夏の暑い間に夏眠とってさなぎのなかで眠りその間に体の仕組みを創ります。そして冬眠とって冬の寒い間やっぱりサナギのなかでしっかり眠り、ここで体の仕組みを仕上げます。ようやく準備のできた蛹はちょうど春の頃になって、さなぎの殻が柔らかくなり、脱皮して蝶になるのです。冬の間次々の年の準備をしているのです。自然のなかでは木々も、虫たちもこんなに春の用意ができています。

さて、春、4月には皆さんも一つ進級して1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生、4年生は5年生、そして、5年生は6年生。6年生はもう中学生です。

残りわずかになった今の学年。今いる友達も、教室も、4月にはもうあたり前ではなくなります。私の家の近所に引っ越してきたおうちの幼稚園年長さんも、一昨日近所を散歩していると、からのランドセルを背負って嬉しそうに見せに来ます。そして、『もう、自分の名前かけるんだよ。』、そう、この子も小学校に入る準備、OKかな。

さてさて、桃五の皆さん。明日から3月、最後の月です。

新しい学年、新しい学校、への新旧進学はもうすぐです。

皆さん、準備はいいですか・・・・・・・・。

